

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に関しては簡単・明瞭可を意識したものではあるが、意味を理解しつつの介護になると不足している部分も感じられる。	すべての職員が理念の把握が出来、それをもとに行動に移せる。	月初めの理念の唱和から、実施回数を増やしていく。また、新人職員には特に研修も兼ねて説明していく。	6 か月
2	13	具体的な職員の育成する仕組みがない。	意欲ある職員育成。	研修等は個人の判断で参加の有無を募っていたため参加人数が少ない傾向であった。人員的に余裕がないこともあるが、近隣の研修から少しずつでも参加できるような仕組みを整えていく。また、職員の意見に対して聞く耳をもっていく。	6 か月
3	34	医療的な面においては夜勤帯を中心に不安がられる職員が多い。スムーズに連携を図れるよう取り組みを行っているが不十分な面がある。	不安なく夜勤の仕事ができる。	救急マニュアルの再見直しを図り、かかりつけ医にも協力を得る。また、新たな看護師の採用を行い、医療面の強化を図る。	3 か月
4	49	新型コロナウイルスにより、レクはもちろん外出支援がほとんどできない状態である。	入居者様が生き生きとした生活が送れる。	全国的な感染状況の把握を行いながら、感染に対するリスクマネジメントを行い、少しでも活動が増やせるように「工夫」の視点で知恵を出し合う。	1 か月
5					か月